

なんだ・かんだ

◆ 白内障手術 ◆

11月の初めに白内障の手術を受けました。視力が落ちてきてモノが見え難くなったので、眼科で診てもらおうと「白内障ですね。なるべく早く手術をした方が良いです。」と言われました。これまで白内障と言われた事が無かったので驚きましたが、急遽手術する運びとなりました。

白内障の手術は通常は日帰りなのですが、私は幼い頃に目をケガしていたので、2泊3日の入院付の手術となりました。眼球に挿入する人工のレンズ(眼内レンズ)を、私の場合は目をケガしたことにより眼内でレンズを支持する部分が損傷していて、固定できない可能性があり、それもやってみなければ分からないとのことでした。

固定できない場合はレンズを挿入しないままで手術を辞めて、1カ月後に再手術でレンズを縫って固定するということでした。その1カ月間はどの様な状態になるのか説明はありませんでしたが、恐らく片目は見えないままだったのでしょう。もう一方の目の視力が弱い私は車も運転できない、テレビも良く見えない大変不便な1カ月になってしまいました。

結果的には手術は特に問題もなく通常の白内障手術と同様15分程度で痛みもなく無事成功し、翌日には眼帯も取れて裸眼で手術前よりも良く見えるようになったので良かったです。

参考までに手術について少し解説しますと、手術室では、歩いて手術室の中にある椅子に座らされ、血圧計と血中の酸素濃度を測る機械を装着されると、椅子が電動でリクライニングして手術台へと変形。

その後手術本番に移るのですが、流れとしては、①目の消毒洗浄と点眼による麻酔をする。→②顔に目の部分だけ穴が開いている布を被せ、目を閉じない様にクランプで固定する。→③眼内レンズを入れる為に水晶体を包む袋に切れ目を入れる。→④開けた切れ目から器具を入れ、超音波で水晶体を砕きながら吸引し濁った水晶体を取り除く。→⑤眼内レンズを入れ固定する。といったところです。

当初この作業が全て見えた状態で手術が進むと思いで多少ビビっていたのですが、実際は光が見えるだけで行われていることは全く見えませんし、多少何か眼球を触っている感覚がある程度で痛みも全くありませんでした。今後白内障の手術を受ける方は結構いらっしゃると思いますが、安心して受けて大丈夫だと思います。

術後の視力についてですが、私は極度の近視でこれまでコンタクトレンズを使用していましたが、まずこのコンタクト無しで裸眼でも手術前よりも良く見える様になりました。その点は非常に良かったのですが、良く見える様になったのは、本や新聞を読む場合の距離についてだけで、中距離・遠距離については、メガネで調整するしかなくなりました。眼内レンズはあらかじめ設定した距離に焦点が合うようになっていたのでした無いのです。

後から知ったのですが、眼内レンズは、単焦点レンズ、2焦点レンズ、3焦点レンズ等があるということなので、この点は手術前に医師と相談した方が良いと思います。私は遅きに失しました。

後は、1日4回3本も目薬をしなければならぬのが厄介です。以上、参考になれば幸いです。



■ 墜落制止用器具 ■

高所作業時に使用されている安全帯が、2019年2月1日より法律変更により、名称が「墜落制止用器具」に改められ、一部高さが6.75m以下で「胴ベルト型(一本つり)」を使用できますが、それ以外の高所作業においては「フルハーネス型」を使用することが原則となりました。

同法律が施行され、猶予期間が2022年1月1日までとなっていますが残り1カ月余りとなりました。まだ準備を終えていない様でしたら当社にご相談ください。現在大変な品薄状況となっておりますが、種類によってはいくらかの在庫もございます。期限前に準備を怠りなく！

コロナは収束したのか

過ごし易い秋が続いていましたが、20日過ぎに降った冷たい雨の後、急に冷え込みました。風が強いので体感温度はより低く感じられます。これからだんだん寒くなっていくのでしょうか。寒い冬はあまり好きではありませんが、冬は冬らしく適度に寒い方が災害や経済においても良いと思うので極端な気候にならない様にと願っています。

さて日本国内ではコロナウイルスの感染状況も段々落ち着いてきています。しかしながら世界を見ると、ヨーロッパやお隣の韓国でも日増しに感染者が増え第6波が押し寄せています。専門家にも理由は分からないようですが、日本だけが真空地帯の様に感染者が減少している状況です。

感染者が減ると同時に人も動き出しました。新幹線や観光地でも人が多く出ていますし、居酒屋でも少しずつお客様が増えているということです。人数や時間の制限はあるものの徐々に正常な状態に戻りつつあります。

このまま、リバウンドせずに治療薬が認可され、3回目のワクチン接種がタイムリーに行われてコロナがインフルエンザ並みの病気になる、収束宣言が出されるまでになってほしいと切に願っています。

代表取締役 服部 敏一郎

社員ブログ

● お茶ノ子祭々というよさこいチーム ●

営業1課 西家公彦

以前紹介しました息子が所属しておりますよさこいサークルが10月10日に神戸で行われました。「神戸ALIVE 2021」におきましてなんとなんと大賞(優勝)を取りました!!

静岡の誇る富士山と桜(河津桜)をテーマにした演舞は圧巻で鳥肌ものです。

コロナ過において多くのイベントがなくなり演舞を披露する場もなくなり・・・学生達もモチベーションを保つのが大変な中、諦めずに地道に練習を重ねた日々は、我々大人たちが思うより辛く切ない日々だったと思います。

今回、しっかりと感染対策を取りイベントを開催する側及び参加する側の人々が昨今の現状を受け入れ行動している姿に大変感銘を受けました。

息子は今年で引退します(?)が今まで色々なイベントを通して楽しい思い出や経験を貰うことができたことに感謝しています。



本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思っております。次回からの発送を中止させていただきます。

株式会社チキリ
静岡県駿東郡清水町卸団地73
Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534

E-mail ger@chikiri.com URL <http://www.chikiri.com/>